

平戸市 議会だより

vol.78
令和5年(2023年)
2月1日発行

CONTENTS

と
か
い
せ
ん
11月臨時会
12月定例会

- 2 …常任委員会レポート
- 4 …決算特別委員会レポート
- 10 …12月定例会ここに注目!、所管事務調査中間報告
- 11 …11月臨時会、12月定例会で審議された案件
- 12 …一般質問
- 15 …政務活動報告
- 16 …平戸のチカラ



LEDライトで彩られる 春日の棚田

と
か
い
せ
ん

No.78 2023.2.1 平戸市議会だより

編集・発行:平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1-508-3

TEL22-9170 FAX22-3427 E-mail:gikar@city.hirado.lg.jp



このコーナーでは、平戸市の宝をご紹介します。

春日集落拠点施設「かたりな」

どんな施設?



※母屋の売店には地場産品や手作りの品が数多く並ぶ

平成30年7月「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録され、その構成資産の一部となった春日集落。「かたりな」は春日集落の古民家を改修し作られた集落案内所で、世界文化遺産登録に先立ち平成30年4月にオープンしました。

施設は主に母屋と隠居部屋に分かれており、母屋は案内所、売店、資料展示コーナーを備えています。隠居部屋では、お茶や手作りの漬物や干物、茶菓子などによるおもてなしのほか、春日集落の住民が「語り部」として常駐しており、何気ない会話から、集落のこと、その土地の歴史などを聞くことができ、来訪者から高い人気を博しています。



世界文化遺産登録からまもなく5年

「かたりな」でガイドを務める安満の里春日講 代表の寺田賢一郎さんと、語り部の一人として、来訪者に温かいおもてなしをされている増田貞子さんにお話を伺いました。



右:安満の里春日講 代表 寺田 賢一郎さん(65歳)
左:春日集落拠点施設かたりな 語り部 増田 貞子さん(86歳)

Q 世界文化遺産登録から間もなく5年を迎えますが、世界文化遺産登録後の変化を改めてお聞かせください。

寺田さん 来訪者が増え、交流人口は大きく増加しました。近年は新型コロナウイルス感染症の影響によりオープン当初と比べ来訪者は減少していますが、それでも、令和3年度は約1万4千人にご来館いただきました。

Q 語り部として活動する中で、来訪されるお客さんに良く聞かれることは何でしょうか。

増田さん 何気ない会話の中で、私自身が子どもの頃の生活の様子や、かくれキリシタン信仰の状況などをお聞きになる方が多い印象です。お客さんとお話することで、私を含めた「語り部」の良い刺激になっていると感じます。

Q 今後、ガイドとして、また春日集落として取り組んでみたいと考えていることはありますか。

寺田さん 世界文化遺産の構成資産は、この春日集落と、山岳信仰の対象となっていた安満岳です。以前は春日集落から安満岳への登山ルートがありましたが、近年は木が生い茂り、登山が困難な状況となっていました。現在、関係団体とも協力して登山道をふさぐ雑木の撤去などといった取り組みを始めています。この取り組みが進めば、春日から安満岳への周遊コースが開拓され、より世界文化遺産の一体感を感じて頂けるのではないかと考えています。

広報特別委員会

委員長	松口	茂生
副委員長	神田	全記
委員	井元	宏三
委員	針尾	直美
委員	吉住	龍三

年が明けて、あっという間に二月になりました。
二月と言えば節分。節分は季節を分けるという意味もあるそう、二月四日は立春、暦の上では春がやってきます。
そんな季節の変わり目に、邪気を払って無病息災を願う豆まきですが、私も子どもが小さい頃は鬼の役は定番でした。
今年は兎年、新型コロナウイルス感染症が収束し子ども達が、うさぎのように飛び跳ね笑顔で生活が出来るよう願いつつ、市民の皆様にとって飛躍の年となりますようお祈り申し上げます。
本年も議会広報特別委員会一同市民の皆様にご覧いただける紙面づくりの為にがんばって参りますので引き続き愛読をお願い致します。
(松口 茂生)

編集後記

